

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価書

平成27年9月7日

施設名	高知県立県民文化ホール	所管課	文化推進課
-----	-------------	-----	-------

## 1 施設の概要

指定管理者名	高知県立県民文化ホール共同企業体	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
施設所在地	高知市本町4-3-30		
事業内容	県民の明るく豊かな文化生活の向上に寄与するための文化事業の実施、及び音楽、演劇その他の催しのための場の提供を行う。 ・施設利用の許可等 ・ホール事業の企画等 ・施設及び設備の管理 ・その他ホールの設置の目的を達成するための業務		
施設内容	<建物>延べ床面積:11,842.77㎡ 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)地下1階地上4階 <土地> 5,288.15㎡ <主要施設> 大ホール(1507席)、小ホール(500席)、楽屋、リハーサル室、多目的室など <開館時間>午前9時～午後10時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> ホール・多目的室は午前・午後・夜間・全日の別で料金設定		
職員体制	常勤職員: 16人	契約職員: 6人	非常勤: 2人 合計: 24人

※職員数は平成26年4月1日現在

## 2 収支の状況

単位:千円

		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(予算)
収入	県支出金	103,725	110,103	117,825
	事業収入	116,526	109,367	103,051
	その他	7,577	3,409	8,838
	収入計(a)	227,828	222,879	229,714
支出	事業費	228,870	222,975	229,714
	(うち人件費)	(42,765)	(126,863)	(115,427)
	その他	0	0	0
	支出計(b)	228,870	222,975	229,714
収支差額 (a)-(b)		-1,042	-96	0

※平成26年度(予算)は高知県立県民文化ホール共同企業体の予算

## 3 利用状況

	平成25年度(実績)	平成26年度(実績)	前年度比
①年間利用者数(単位:人)	オレンジ 176,340人	191,320人	+ 14,980人
	グリーン 53,900人	49,393人	- 4,507人
	計 230,240人	240,713人	+ 10,473人
<利用実績> 平成26年度は、オレンジ、グリーン両ホール合計の入場者数240,713人で前年度を10,473人上回り、入場者数目標244,000人に対し、98%の実績であった。 また、多目的室の利用件数1,951件は前年度を上回り、延べ利用日数は前年比104%であった。			

#### 4 県の要求水準に対する評価

##### 要求水準 1

施設及び設備の維持管理を適切に行い、安全かつ快適な利用環境を提供する

###### 評価項目

(1) 施設及び設備の保守点検等を適切に行うとともに、安全管理を適切に行い、故障や事故のない運営を行う。

- ・点検、修繕の実績
- ・業務委託の状況

###### 評価項目

(2) 災害発生時における利用者の避難その他の応急対策、及び津波避難ビルとして一時的に避難者を受け入れることについてあらかじめ検討し、必要な対策を講じる。

- ・風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策
- ・マニュアルの作成
- ・職員研修

###### 状況説明

- ・施設及び設備の保守点検等は、法定点検回数を遵守し適切に行った。
- ・機器以外にも利用者の怪我等を未然に防ぐべく適宜館内を巡回し、先手を打つ管理に努めた。
- ・グリーンホールステージ付近の雨漏りについては、浸水箇所の特定に期間を要することから、樋の敷設により、早急な対応を図った。
- ・モール西階段すべり止めについては、夏場の高温による膨張で一部が浮き上がり、利用者がつまずく恐れがあったことから、取替修繕を行った。
- ・消防計画に沿った避難誘導にかかる職員の役割分担を明確にし、周知するとともに、年2回の避難誘導訓練では、事前に全職員でシミュレーションを行うことにより訓練内容の充実を図った。
- ・3月の全国火災予防週間に合わせて訓練を行い、通常訓練に加えて模擬消火器による消火訓練を行った。
- ・津波避難ビルであるが、近隣住民にとっては風水害時の避難所との認識がある可能性があり、台風接近時や暴風雨警報時には連絡態勢を再確認した。
- ・2度あった未明の大雨洪水警報時には、事務棟玄関開錠、同エレベーター稼働および階段廊下点灯を行い、避難住民来館に備えた。

評価	理由
B	・上記により、適切な施設等の維持管理、及び安全かつ快適な利用環境の提供に努めたと認められる。

要求水準 2

利用者の満足度を高める運営により、施設利用の促進を図る

<p>評価項目</p> <p>(1) 文化団体等が自ら行う音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸その他の芸術及び芸能の公演・発表や練習の場として、またその他の文化活動の日常の活動拠点として利用しやすい運営を行い、県民の芸術文化活動の拠点施設としての利用を促進する。</p>
<p>評価項目</p> <p>(2) 民間興行による公演、各種団体の会議その他の催し物の用に供する施設として、主催者が希望する施設の利用形態に応じて、利用しやすい環境とサービスを提供することにより、施設利用率の向上に努める。</p>
<p>評価項目</p> <p>(3) 利用者のニーズや評価等に関する調査・分析を行い、その結果を生かして、施設の機能強化やサービス改善に努める。</p>

状 況 説 明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年あるいは隔年で定期的に行われる公演や発表会等の芸術文化活動の場として、継続的な利用がされた。</li> <li>・ホール利用者アンケートでは、スタッフの対応について、「大変感じがいい・わかりやすい」と「まあまあ感じがいい・わかりやすい」の合計がオレンジ90%以上、グリーン100%であった。また、ホール利用者からの苦情はなかった。</li> <li>・公演、会議等にかかる施設の貸出業務では、迅速で丁寧な対応を心掛けるとともに、主催者側の各種要望に対して、柔軟な対応を図った。また、受入れ不可能な要望についても、主催者側の背景を確認したうえで、代案を提案するなど、不快感を与えない接客を心掛けた。</li> <li>・貸多目的室の存在を知らない声が多かったため、チラシを作成し、DM等で配布した。また新聞広告掲載やテレビ・ラジオでスポット告知を行った。</li> <li>・大都市圏の大学説明会等の利用があったため、関東以西の大学・専門学校等にDMを発送した。</li> <li>・自主鑑賞事業5本に来場した利用者に対しアンケート調査を行い、公演情報収集先、来場手段、料金設定、来場動機、スタッフ態度、公演希望ジャンルなどを分析した。</li> <li>・両ホール利用の主催者に対し、料金受取人払郵便の葉書によりアンケート調査を行い、通算利用回数やスタッフの対応評価、施設・備品・料金設定などを分析した。</li> </ul>

評 価	理 由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の芸術文化活動の拠点施設として、利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、その利用を促進した。</li> <li>・利用しやすい環境とサービスを提供し、また、広告やDMなどで利用率向上に努めた。</li> <li>・アンケートにより調査・分析を行った。</li> <li>・平成26年度は、指定管理者として1年目であり、今後は結果を生かしたさらなるサービス向上に期待したい。</li> </ul>

要求水準 3

質の高い芸術文化公演の企画・実施により、県民に優れた芸術鑑賞の機会を提供する

評価項目

(1) 県域の芸術文化の広域拠点施設として、大ホール及び小ホールそれぞれの規模にふさわしい音楽や舞台芸術などの公演を自主的に企画し、実施する。

評価項目

(2) 県民の多種多様な鑑賞ニーズに応えるため、幅広いジャンルから上質な作品をバランスよく上演する。

状況説明

・県域の芸術文化の拠点施設として、大小ホールそれぞれの規模にふさわしい公演を企画し幅広い年代のニーズに応える質の高い芸術鑑賞の機会を提供した。

1 主催事業

- ・歌謡ショー:「NHKBS日本のうた公開収録」(大ホール)(1,200人)
- ・器楽吹奏楽声楽:「第38回高知県新人演奏会」(小ホール)(100人)
- ・映画:「『海角7号、君思う、国境の南』台湾映画上映会」(小ホール)(90人)  
「県民が選ぶ映画ベストテン 上映会」(小ホール)(720人)
- ・軽音楽:「パシフィック・ショーケース コンサート」(小ホール)(500人)
- ・演劇:「劇団かかし座かげ絵劇『三枚のおふだ』」(大ホール)(620人)
- ・器楽:「ハイック・カザジャン ヴァイオリンコンサート」(小ホール)(270人)
- ・オーケストラ:「ファミリーコンサート オーケストラで聴くジブリ音楽」(大ホール)(1,500人)  
「高知ジュニアオーケストラ 第3回定期演奏会」(小ホール)(450人)
- ・軽音楽:「大野雄二 & ルパンティックファイブ ルパン・ジャズライブ」(大ホール)(1,200人)

2 共催事業

- ・ミュージカル:「土佐弁ミュージカル ホグワーツ土佐流魔法魔術学校」(300人)
- ・演劇:「市川猿之助 特別舞踊公演」(大ホール)(1,800人)
- ・歌謡ショー:「ディズニーライブ! ミッキーのザ☆マジックショー」(大ホール)(5,100人)
- ・吹奏楽:「blast(ブラスト!)」(大ホール)(1,500人)  
「第10回 スーパーハイスクールプラス演奏会」(大ホール)(900人)
- ・器楽:「牛田智大 ピアノリサイタル」(大ホール)(1,200人)

3 その他

新たな試みとして、大ホールロビーを活用した「鉄拳のパラパラマンガの世界展」を開催(2,900人)

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大ホール 4 本、小ホール 6 本のほか、大ホールロビーを活用した新たな事業に取り組み、合計 11 本の幅広いジャンルの自主事業を行った。</li> <li>・主催事業の入場者数は目標に対し 205%の実績であった。</li> <li>・幅広い年代に、多種多様な芸術鑑賞の機会を提供した。</li> <li>・質の高い芸術文化公演の企画・実施により、県民に優れた芸術の鑑賞機会を数多く提供した。</li> <li>・県民文化ホール独自の事業の推進に期待したい。</li> </ul>

要求水準 4

地域の創造力の向上に向けて、芸術文化を担う人材を育成する

<p>評価項目</p> <p>(1) 自主企画により上演される作品等をテーマや素材にして、芸術文化への関心を高め、理解を深めていく事業を行い、芸術文化振興の担い手となる観客を育成するよう努める。</p>
<p>評価項目</p> <p>(2) 学校その他の教育機関で、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸その他の芸術及び芸能の実演又は舞台設備、舞台音響、舞台照明等の効果的な運用操作などの舞台芸術に関する活動を行っている児童生徒を対象に、講習会の開催や発表機会の提供等を行い、次代の芸術文化を担う人材を育成するよう努める。</p>
<p>評価項目</p> <p>(3) 指定管理者の自主事業として運営されているジュニアオーケストラの活動を継続し、芸術文化を通して青少年の健全育成を図るとともに、育成のための支援体制を充実させることにより、オーケストラとしてのレベルアップに努める。</p>

状 況 説 明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・超一流バイオリニストのコンサートを実施するなど、将来の芸術文化の担い手となる観客を育成するという視点をもって、質の高い作品の提供に努めた。</li> <li>・ジブリ音楽を演奏するオーケストラ公演を実施し、幼少時に管弦楽と触れ合える機会を設けた。</li> <li>・自主事業と同じジャンルの催しを行っている県内芸術団体のチラシ配布に協力した。</li> <li>・高知県高等学校演劇部夏季舞台技術講習を開催した。のべ8日間の芝居稽古、小ホールを4日連続で使用したプロの劇団員による演劇表現と県民文化ホール技術職員による舞台技術の講義を経て、最終日は全てを生徒のみで仕上げるなど、次代の芸術文化を担う人材育成に努めた。</li> <li>・ジュニアオーケストラについては、定演初の試みとして附属小と小高坂小合唱部の共演を企画し、合同練習から本番当日まで練習を重ねることで、他校児童と音楽交流を深めた。</li> <li>・ジュニアオーケストラ団員資格の年齢枠拡大、初心者コース創設など増員策をとった。また講師陣と保護者との会合を開き、育成のための意見交換を行った。</li> </ul>

評 価	理 由
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次代の芸術文化を担う人材の育成に努めた。</li> <li>・ジュニアオーケストラにおいては、初心者への支援体制を充実し、組織の強化に努めるとともに、他校児童との音楽交流や育成のための意見交換を通して青少年の健全育成とレベルアップに努めた。</li> </ul>

要求水準 5

関係機関等との連携・協力により、芸術文化の振興を図る

<p>評価項目</p> <p>(1) 芸術文化団体が企画する県民参加型の事業や、鑑賞団体が企画する一般の観客を対象とした公演を共催で実施するなど、県民の自主的な芸術文化の振興活動と連携・協力することにより、県民の芸術文化活動への参加の促進や、県民が優れた公演等を鑑賞する機会の拡大に努める。</p>
<p>評価項目</p> <p>(2) 学校その他の教育機関及び芸術文化教育の推進を目的とする団体等との連携・協力により、児童生徒に対して質の高い芸術文化に触れる機会を提供する。</p>
<p>評価項目</p> <p>(3) 県内の他のホールの職員等を対象に、ホールの企画運営や舞台技術に関する実践的な知識及び技術を習得するための研修の機会や、共同開催の公演を実施することによる企画運営ノウハウの移転の機会を設けることによって、地域のホール運営の専門性向上に努める。</p>

状 況 説 明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 回目の節目を迎え生徒主体の企画運営へと進化した「スーパーハイスクールプラス演奏会」を共催し、県内高校吹奏楽部や大学から選抜された部員が、合宿形式で練習を積んで定期演奏会を行うことで県民の芸術文化活動への参加を促進した。</li> <li>・GENKI 青年会(語学指導等を行う県内在住外国人でつくるボランティア団体)が平成7年から毎年行っている「土佐弁ミュージカル」を国際交流および外国語学習促進協力の一環として共催により実施した。</li> <li>・高知県高等学校演劇部夏季舞台技術講習開催やジュニアオーケストラ定期演奏会の初の試みである高知市内小学校の合唱部 100 人との共演の企画を通して、児童生徒に対して質の高い芸術文化に触れる機会を提供した。</li> <li>・室戸市の市立ホールでのべ5日間、舞台技術の音響・照明分野にかかる講習をのべ120人を対象として開催した。</li> <li>・高知県文化施設協議会メンバーへ打診した「県民が選ぶ映画ベストテン」上映会は、土佐清水市立市民文化会館と田野町ふれあいセンターが参加し、県域東部・中部・西部の3会場で開催できた。合計の有料入場者数は約1,000人となった。</li> </ul>

評 価	理 由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化の振興活動と連携・協力し、県民の芸術文化活動への参加の促進や、県民が優れた公演等を鑑賞する機会の拡大に努めた。</li> <li>・児童生徒に対して質の高い芸術文化に触れる機会を提供した。</li> <li>・ホールの舞台技術に関する実践的な知識及び技術を習得するための研修を開催し、また、事業を連携して実施することで企画・運営ノウハウの移転の機会を設けるなど、地域のホール運営の専門性向上に努めた。</li> </ul>

## その他

### 評価項目

#### (1) 社会的責任

- ・法令等の遵守
- ・個人情報
- ・情報公開の状況

### 状況説明

- ・条例や内規等に基づく運営管理業務を行い、「同件事例には同じ対応」を心掛けた。
- ・個人情報保護に関しては、平成 26 年 4 月 1 日から、利用者の個人情報を扱う受付管理システムをインターネット環境から遮断したほか、来場のお客様の事務所内入場可能区域も受付カウンターまでとし、事務所が開いている間は必ずスタッフが駐在することで書類等を守った。
- ・事業部門のパソコンはネット環境にあるが、ウイルス感染対策として本社から管理されたUSBメモリー以外接続できない設定とした。

評価	理由
B	・上記により、適正な管理運営が遂行されたと認められる。

### 評価項目

#### (2) 利用実績

利用実績の状況： ・利用状況の分析

### 状況説明

- ・両ホール合計の利用件数 372 件及び入場者数 240,713 人は前年度を上回り、入場者数目標 244,000 人に対し、98%の実績であった。
- ・多目的室の利用件数 1,951 件は前年度を上回り、延べ利用日数は前年比 104%であった。
- ・指定管理業務の引き継ぎ時期が大幅に遅れて 3 月中旬からとなり、第1四半期までは管理運営業務体制の確立に時間を要したため、十分な営業活動ができなかった。
- ・事務所来場者および電話の対応に関して、リピーター増に繋がる誠意のこもった丁寧な態度を年度当初から徹底した。

評価	理由
B	・上記により、適正な管理運営が遂行されたと認められる。

<p>評価項目</p> <p>(3) 収支の状況</p> <p>経営努力: ・収入増加の取り組み ・経費削減の取り組み</p>
---

状況説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な対応に努めた結果、使用料収入はオレンジホール、グリーンホール、楽屋・リハーサル室等、付属設備、多目的室すべての項目で前年度を上回り、合計で前年度を約 1,300 万円上回った。</li> <li>・自主文化事業の広告をメディア展開することで、鑑賞事業の入場料収入が予算倍増となり 1,000 万円を超えた。</li> <li>・予算を上回った収入を原資に、新たな自主事業を実施し、また多目的室周知のメディア展開を行った。</li> <li>・年間経費の 18% 近くを占める水道光熱費削減のため、契約電力会社を四国電力からミツウロコに切り換えた。</li> </ul>

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料収入は前年度を大きく上回った。</li> <li>・入場料収入は予算に対して倍増となった。</li> <li>・水道光熱費削減のため、契約電力会社を変更するなど積極的な取り組みが認められる。</li> </ul>

総合評価

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の芸術文化活動の拠点施設として、利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、その利用を促進した。</li> <li>・大ホール 4 本、小ホール 6 本のほか、大ホールロビーを活用した新たな事業に取り組み、合計 11 本の幅広いジャンルの自主事業を行った。</li> <li>・小学生 100 人に対しジュニアオーケストラの定期演奏会での共演機会を設け、また、高校生に対し高知県高等学校演劇部夏季舞台技術講習を開催するなど、児童生徒に対して質の高い芸術文化に触れる機会を提供した。</li> <li>・上記により、概ね要求水準どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされたと認められる。</li> </ul>

意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もさらに実績を積み重ね、取り組みが発展していくことを期待する。</li> <li>・県民文化ホールの独自の事業推進を期待し、県外からも集客できるコンテンツ等についても検討してほしい。</li> <li>・施設の性格上、オレンジホール 1,500 人、グリーンホール 500 人、多目的室利用者が同時に来館している時の災害誘導の方法の検討をお願いしたい。</li> </ul>

評価基準

- 「A」 要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた。
- 「B」 概ね要求水準どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた。
- 「C」 要求水準に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要。
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえず、大いに改善を要する。